

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
PC/P-9.5 PC/P-9.6 PC/P-9.7	<p>PCVベントを開始する場合は、S/P水位を確認し、S/Pベントライン位置以上の場合 (S/P水位計オーバースケール) はD/W側、それ以下の場合はS/P側のベントラインを使用し、小口径ベントライン (耐圧ベントライン、AC系パージライン又は、SGTSライン) によりベントを行う。 (注6)</p> <p>上記の操作にもかかわらずS/P (D/W) 圧力が上昇する場合は、大口径ベントラインによりベントを行う。</p> <p>&lt;尚、PCVベントは耐圧ベントラインを優先する。&gt;</p>	<p>注意事項#19</p> <p>PCV スプレーを作動させる場合はS/C圧力を確認し、13.7kPa以下となったら負圧になる前にPCVスプレーを停止する。</p> <p>(注6) PCVをベントする場合、SGTS内圧が設計圧力を超えないようにするため、S/P側出口バイパス弁を使用し、徐々にベントする。</p> <p>また、ベント時にはS/P水が減圧沸騰する恐れがあるため、HPCI、RCICの水源がS/Pになっている場合には事前にCST側に切り替えておくこと。</p> <p>この際、HPCI系S/P側吸込隔離弁 [MO-23-57, 58]のS/P水位高による開信号をバイパス (リフト) する。                      PNL9-37 (X1) RE34D05 (L2A) リフト                      PNL9-39 (X1) RE34D06 (L2A) リフト</p>	解説 B-19
	<p><b>耐圧ベントライン</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SGTSの運転を停止し、2台を待機 (CS引保) にする。</li> <li>SGTSの自動起動信号を除外する。 ・SGTS (C/D) オーバライドCOS「オーバライド」位置</li> <li>SGTSトレイン出口弁 [BF-3-7, 3-9] を「閉」する。</li> <li>不活性ガス系隔離信号バイパスキー付スイッチを「トールス」側にする。</li> <li>圧力抑制室ベント弁 [AO-205] を「全開」する。</li> <li>PCVベント弁 [MO-271] を徐々に「開」する。</li> <li>PCV耐圧強化ラプチャーディスクが作動し、S/P (D/W) 圧力が降下することを確認する。</li> <li>以上の操作で減圧できない場合、小弁側 (S/P側 [AO-206] D/W側 [AO-208]) を「開」する。</li> </ol>	<p>(S/P水位計OSの場合「格納容器」側)                      S/P水位計OSの場合「格納容器」側ベント弁AO-207を開する。</p> <p>(作動圧力 427kPa)</p>	参考資料 (参考 5) (図 6)